



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475

ウクライナ侵略を断固糾弾する ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ

日本共産党
志位委員長が
緊急声明

2月24日、日本共産党の志位和夫委員長は国会内で記者会見し、「ウクライナ侵略を断固糾弾する ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ」と題する声明を緊急に発表しました。声明はロシア、ウクライナをはじめ各国大使館に送りました。

【声明の全文】

一、ロシアは24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めた。これはウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求める。国際社会が、ロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略をやめさせることを呼びかける。

一、プーチン大統領は同日の演説で、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章51条の「集団的自衛」だとしている。しかし、一方的に「独立」を認めた地域・集団との「集団的自衛」などありえず、国際法上まったく根拠がない暴論である。

大統領はまた、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めるとのべ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させる構えを見せている。ロシア

命を殺し生活を破壊する 戦争は直ちに止めよ！

県会議員 遠藤れい子

私は元日赤の看護師として、また日本共産党員として、ロシアのウクライナ侵攻



長岡赤十字病院の前にて

国防省はウクライナの各地の軍事施設への攻撃も明らかにした。ウクライナを独立国・主権国家として認めない態度であり、厳しく非難する。

一、プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることとを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せている。核兵器で世界の諸国を威嚇するものであり、今日の世界においては、決して許されるものではなく、怒りを込めて糾弾する。

を断じて許せません。ロシアは直ちに戦闘を止めて、軍隊を引き揚げるべきです。

日赤病院の多くの先輩が従軍看護婦として戦場に赴き命を落としました。

「どんな理由を付けても人の命を奪い、生活を破壊する戦争はしてはならない」ということが、先輩方の最大の教訓ではないでしょうか。私は戦争は絶対反対です。

とても大事なことです。号は「戦争反対を貫く」日本共産党の姿勢と歴史について、共産党綱領を紹介いたします。戦争反対を貫いた小林多喜二はそれゆえ虐殺されました。

【日本共産党綱領から】

日本共産党は、一九二二年七月一五日、科学的社会主義を理論的な基礎とする政党として、創立された。

：党は：まず平和で民主的な日本をつくりあげる民主主義革命を実現することを当面の任務とし：活動した。

：党は：主権在民、国民の自由と人権をかちとるためたたかった。

：帝国主義戦争と天皇制権力の暴圧によって、国民は苦難を強いられた。党の活動には重大な困難があり、つまずきも起こったが、多くの日本共産党員は、迫害や投獄に屈することなく、さまざま裏切りともたたかい、党の旗を守って活動した。このたたかいで少なからぬ党員が弾圧のため生命を奪われた。

：他のすべての政党が侵略と戦争、反動の流れに合流するなかで、日本共産党が平和と民主主義の旗を掲げて不屈にたたかい続けたことは、日本の平和と民主主義の事業にとって不滅の意義をもった。

（詳しく知りたい方には、日本共産党綱領を差し上げます。ご連絡ください。）